

## 令和元年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）進捗状況報告

（令和 2 年 3 月）

報告者氏名・所属	齋藤 征人（函館校・准教授）	
研究プロジェクトの名称	地域課題の解決に向けたソーシャルクリニック・モデルの汎用化に関する応用的研究	
プロジェクト担当者 （氏名・所属・職）	古地 順一郎（函館校・准教授） 森谷 康文（函館校・准教授）	
※代表者に●を付すこと	佐藤 香織（函館校・准教授）	
研究プロジェクトの概要等（期間全体）		
<p>本研究は、地域課題の解決に向けた大学と地域との協働体制としてのソーシャルクリニック・モデルを汎用化し、道南のさまざまな地域への応用によって、大学の知的・人的資源と地域住民による有機的コラボレーションが地域の課題を解決・低減し得るかについて、実証的に研究することを目的とする。中期計画では、15「学科においては、ステークホルダーの意見を取り入れる仕組みを作り、地域に貢献する人材養成プログラムの開発を行う。また、地域や文化価値に関する現代的・学際的探求を進め、研究成果を地域の様々な課題解決に活用し、地域の国際化や芸術・スポーツ文化による「生き甲斐・健康・まちづくり」等地域の活性化及び振興に寄与する」に対応する。なかでも特に「ステークホルダーの意見を取り入れる仕組みを作」ることに直接寄与し、ひいては「地域に貢献する人材養成プログラムの開発」や「地域の活性化及び振興」につなげたいと企図するものである。</p>		
進捗度	2	←番号を記入 1.順調に進んでいる 2.ほぼ順調に進んでいる 3.やや遅れ気味 4.遅れ気味
<p>（進捗度が3若しくは4の場合、問題点等の理由を記入願います。） 予定していた内容を、ほぼ順調に実施しているから。</p>		
研究実績の概要（当該年度）		
<p>1. 巡回型サテライト・オフィス開催に向けた打合せの実施  6/26（水）16:00～17:00 檜山振興局  7/30（火）10:30～11:30 渡島総合振興局  8/21（水）13:30～14:30 長万部町役場  8/21（水）16:00～17:00 今金町役場  8/28（水）13:30～14:30 厚沢部町役場  9/10（火）13:30～14:30 福島町役場  9/20（金）13:30～14:30 七飯町役場</p> <p>2. 巡回型サテライト・オフィスの開催・蓄積（会場）  8月29日（火）14:00～16:00 渡島総合振興局（同）  9月24日（火）14:00～16:00 長万部町（長万部町多目的活動センターあつまんべ）  9月26日（火）14:00～16:00 今金町（今金町総合福祉施設としべつ内保健センター）  10月21日（月）14:00～16:00 厚沢部町（厚沢部町保健福祉センター）  11月25日（月）10:00～11:30 七飯町（七飯町役場）  12月2日（月）14:00～16:00 福島町（福島町役場）  12月9日（月）14:00～16:00 檜山振興局（同）</p>		
以上		

今後の研究プロジェクトの推進計画	
<p>昨年度から先行して開始している本研究における巡回型サテライト・オフィスは、本年度で渡島檜山管内の市町のうち約2/3を巡回し、道南地域のステークホルダーの意見を取り入れる仕組みを構築してきた。</p> <p>来年度は残る1/3の地域（鹿部町、松前町、森町、奥尻町、上ノ国町）の巡回型サテライト・オフィスの開催により道南すべての地域のステークホルダーの意見を取り入れるべく、調整を進めていきたい。また、このなかで得られた地域のニーズを地域の課題解決と、地域に貢献する人材養成プログラムの開発につなげていくこととする。</p>	
教育現場や地域で活用可能な成果等	
<p>本研究による巡回型サテライト・オフィスで得られた知見は、近年小中高校等で試みられている各種の課題探求型学習等にも応用可能であるほか、同行している学生たちにとっても、日頃の大学において地域と密着して研究しているゼミ活動や地域プロジェクト等における学びを発表し、多様な助言や示唆を直接もらえる機会となっている。</p> <p>今後は、巡回型サテライト・オフィスで得られた意見を、学内に広く周知しながら、地域協働の取り組みを推し進めていくなかで、より地域のニーズに肉薄したよりゼミ活動や地域プロジェクト等の演習・実習等の授業や研究活動が活性することで、ひいては地域の活性化及び振興につなげたい。</p>	
研究成果の公表実績（当該年度）	
<p>【著書】</p> <p>古地順一郎・齋藤征人「大学は地域をエンパワーできるのか？～ソーシャルクリニックの実践と課題～」北海道教育大学函館校国際地域研究編集委員会編『国際地域研究Ⅲ』大学教育出版、2021年3月発行予定</p>	
<p>【学術論文】（投稿中も含む）</p> <p>齋藤征人・金 鉉善・根本直樹「まちづくりカフェで考えた大学の役割」北海道教育大学紀要第71巻第1号、2020年8月発行予定</p>	
<p>【学会発表、シンポジウム、セミナー、演奏会、展覧会、競技会、普及啓発イベント等】</p> <p>なし</p>	
<p>【テキスト、報告書、研修資料等】</p> <p>なし</p>	
添付資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開催案内兼当日プログラム「ソーシャルクリニック 巡回型サテライト・オフィス（情報交換会）」</li> <li>2. 新聞記事 <ol style="list-style-type: none"> <li>①「今年度の活動目標決めるー『まちづくりカフェ』4年目スタート」函館新聞 令和元年5月13日</li> <li>②「地域の課題 解決策はー市民や学生『クリニック』」北海道新聞（夕）みなみ風 令和元年5月15日</li> <li>③「地域課題 若者と考えるー北斗 函教大生と市民 意見交換」北海道新聞（夕）みなみ風 令和元年5月27日</li> <li>④「地域の課題 どう解決ー北斗でオープンゼミ函教大生ら意見交換」函館新聞 令和元年6月7日</li> <li>⑤「『まちづくりカフェ』に拠点」北海道新聞 令和元年6月7日</li> <li>⑥「町民『共助』で意見ー上士幌 初回研修会に50人」十勝毎日新聞 令和元年6月11日</li> </ol> </li> </ol>

	<p>⑦「地域課題解決へ情報交換」北海道新聞（夕）令和元年9月2日</p> <p>⑧「地域の声集約『難しい』」北海道新聞（夕刊）みなみ風 令和元年11月29日</p> <p>⑨「地域食堂や防災 高齢者支援報告『しゃべれ〜る』」北海道新聞（夕）みなみ風 令和2年2月7日</p>
ダウンロード可能なドキュメント	なし
関連URL	<p>ソーシャルクリニック（SC）：巡回型サテライト・オフィス事業</p> <p><a href="https://www.hokkyodai.ac.jp/hak/general/SCSOR1.html">https://www.hokkyodai.ac.jp/hak/general/SCSOR1.html</a></p>
問い合わせ先	<p>氏名：齋藤征人</p> <p>電話：0138-44-4310（直通）</p> <p>E-mail：saito.masato@h.hokkyodai.ac.jp</p>